

児童相談所、児童養護施設、乳児院 での活動報告

児童相談所とはどんなところ？

★児童相談所・・・児童相談所とは、児童福祉法第12条により設置され、18歳未満の児童に関する診断治療機能と、児童福祉法上の行政機能並びに一時保護機能をもつ機関。

- ①児童に関する色々な問題について、家庭その他からの相談に応じる。
- ②児童及びその家庭について必要な調査を行い、医学的、心理学的、教育的、社会学的及び精神保健上の判定を実施し、その改善について指導を行う。
- ③児童を児童福祉施設に入所させ、または、里親などに委託し、その福祉を図る。
- ④児童の一時保護が必要と認められる場合に、身柄の保護を行う。
- ⑤上記のことを行うため、必要に応じ巡回相談（各地で相談会）を行う。



ボランティアを通して

★目的

児童相談所についての理解を深め、児童相談所の仕事に携わり、自分の知識に取り入れる。

★実施内容

- ・児童心理士、児童福祉士、児童指導員の方達からそれぞれの仕事概要を説明していただいた。

（児童と関わる予定だったが、色々な事情を抱えてる子達と会わせられないということなので、概要を詳しくお伝えしてもらった。）

- ・一時保護所にいる子ども達のクリスマス会のお手伝いをした。

★結果

児童相談所は世の中に必要不可欠な施設であるということがわかった。今回直接子供たちと会うことはできなかったが、私の中の児童相談所という概念が変わり、知識がかなり増えた。



児童養護施設とはどんなところ？

●児童養護施設とは、保護者のいない子供、虐待されている子供などを養護し、自立の援助などを行う児童福祉施設である。児童相談所所長の報告、家庭裁判所からの送致により、都道府県知事が入所の措置をとる。

●子供に安定した生活環境を提供するとともに、児童指導員、保育士などの職員が基本的な生活習慣の確立や自立支援のための生活指導などを行い、退所者の相談を受け援助も行う。できるかぎり家庭的な養育環境を与えるため、施設の小規模化が推進されている。

●児童福祉法では満18歳までを児童とするため、満18歳に達した者は退所しなければならないが、必要があれば満20歳まで在所期間を延長できる。



ボランティアを通して

★目的

児童養護施設の子供と触れ合い、児童養護施設で暮らしてる子供たちと、一般家庭で育った子供との相違を比較する。また、子供たちはなにを考えたかどう過ごしているのかの様子を見る。

★実施内容

小学1年生から6年生の子供たちと遊んだり、勉強を教えたりして終始子供たちの相手となった。

★結果

児童養護施設は、関わることの難しい子供たちばかりだと思っていた偏見が、打ち砕かれた。みんな明るく、無邪気で、積極的に関わってきてくれた。

言葉が乱暴なのは少し気になったが、一般家庭と変わらないのではないだろうか。そもそも一般家庭と比較することが間違いなのではないか、と考えさせられた。



児童養護施設で気になったこと

一人の男の子が、「また来る？」と尋ねてきた。ボランティア先の施設は地元であるし、交通の便もよくないのも行く機会はないと思う。

しかし、その事を伝えるわけにも行かず、「また来るね」と私は男の子に告げた。その子は「本当？」と言ってきたが、私は「本当だよ」と嘘を笑顔で言った。

その時は「また来るね」という言葉がベストかと思っていた。しかし、親のいない子が、私の言葉を信じてずっと待っていて、それでも私が来ることがなかったら、その子は、どう思うのだろうか。「やっぱり大人は信じられない」そう思うのだろうか。

もしかしたら、よかれと思って私の発言は一人の小さな男の子をまた追いつめてしまうかもしれない。あの時の私の発言の正解はなんだったのだろうか、と今も模索しているが、答えが出ることは今のところない。

乳児院とはどんなところ？

- 乳児院とは、何らかの理由によって、親との生活が困難である子供を保護、養育するための施設である。
- 親の病気や死亡、経済的理由、虐待など理由は様々である。子供の養育が困難であると判断される場合に、生活の場として24時間体制で子供を養育していく。
- 乳児院では、主に新生児から2歳くらいまでの乳児院が多い。基本的には小学校就学前まで対象となるため、就学前の子供も在所している。小学校入学の時期になると、児童養護施設の判断で、他の児童養護施設へ移ることが多い。
- 乳児院では、保育士、看護師、管理栄養士、医師など、様々な職種の職員がチームとなって子供を育てていく。乳児院に預けられる子供たちは、産まれて間もない新生児だったり、虐待などにより栄養状態がよくなかったり、障害を持っている子も珍しくないため、様々な職種の職員たちが、情報交換しながら一体となって子供に関わっていく。



ボランティアを通して



★目的

乳児院とはどんなところかというのを学び、乳児院に入っている子供と一般家庭の子供との相違を比較する。（児童養護施設と同じ）

★実施内容

0歳（1カ月～4ヶ月）の赤ちゃんの身の周りのお世話や相手、施設の玩具消毒などの雑務を行った。

★結果

児童養護施設と同じ結果であるが、一般家庭の子となんら変わらないと感じた。養護施設より、乳児院のほうがその傾向が強いと感じた。

また、24時間体制という点以外は他の保育園と変わらず、独自の偏見を持っていた私は勉強不足を痛感した。

今回の3つのボランティアを通して学んだこと。

- ・児童養護施設、乳児院共に健康で明るい子供たちが多い。
- ・児童に関する施設は世の中に必要不可欠である。
- ・児童に対する法律が整備されていない。

